

みずほCustomer Desk Report 2025/12/01 号(As of 2025/11/28)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	156.63
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	156.26	1.1601	181.20	1.3243	0.6536
SYD-NY High	156.58	1.1607	181.51	1.3254	0.6559
SYD-NY Low	155.98	1.1563	180.53	1.3201	0.6521
NY 5:00 PM	156.19	1.1600	181.14	1.3243	0.6548
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	47,716.42	289.30	日本2年債	0.9700%	0.0000%
NASDAQ	23,365.69	151.00	日本10年債	1.8000%	0.0100%
S&P	6,849.09	36.48	米国2年債	3.4955%	0.0205%
日経平均	50,253.91	86.81	米国5年債	3.5982%	0.0311%
TOPIX	3,378.44	9.87	米国10年債	4.0162%	0.0249%
シゴ日経先物	50,245.00	110.00	独10年債	2.6904%	0.0137%
ロンドンFT	9,720.51	26.58	英10年債	4.4395%	▲0.0105%
DAX	23,836.79	68.83	豪10年債	4.5270%	0.0250%
ハンセン指数	25,858.89	▲ 87.04	USDJPY 1M Vol	9.13%	0.02%
上海総合	3,888.60	13.34	USDJPY 3M Vol	9.41%	▲0.01%
NY金	4,254.90	52.60	USDJPY 6M Vol	9.55%	▲0.01%
WTI	58.55	▲ 0.10	USDJPY 1M 25RR	▲0.66%	Yen Call Over
CRB指数	301.49	3.64	EURJPY 3M Vol	7.90%	▲0.06%
ドルインデックス	99.46	▲ 0.14	EURJPY 6M Vol	8.25%	▲0.03%

東京	東京時間のドル円は156.26レベルでオープン。仲値にかけてドル買い優勢となり、一時156.58まで上昇した。ただ米感謝祭翌日で引き続き海外時間の参加者が少ないと見込まれる中、積極的に上値を追う動きもなく、その後は軟調に推移。引けにかけては日経平均の上昇を横目にドル円も小幅に反発して海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は特段イベントがない中、156円台前半で小幅にレンジで推移した。
ニューヨーク	NY市場のドル円はサンスキッピング明けだったものの、週末との谷間になり閑散だった。加えて、経済指標の発表やFRBメンバーの講演なども予定されていないことから月末絡みのフロー中心の取引となり、ロンドンフィックスに掛けて一旦155.98まで下落するが午後は狭いレンジでの推移が続き156.19レベルでクロスした。一方、ユーロドルは朝方はじり高で推移しロンドンフィックスに掛けてドル売りが優勢となったことから1.1607まで戻す。午後は1.16ちょうど付近での推移が続き1.1600レベルでクロスした。

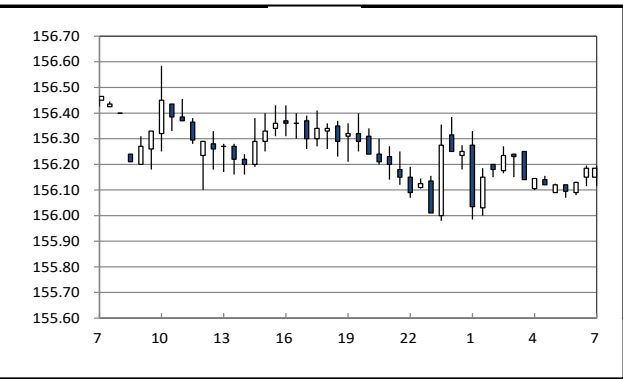
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月28日	08:30	日 東京/コア/コアコアCPI	11月 2.7%/2.8%/2.8%	2.7%/2.7%/2.8%
	08:30	日 失業率	10月 2.6%	2.5%
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	11月 -0.2%/2.3%	-0.2%/2.4%
11月30日	10:30	中 製造業PMI	11月 49.2	49.4
	10:30	中 非製造業PMI	11月 49.5	50.0

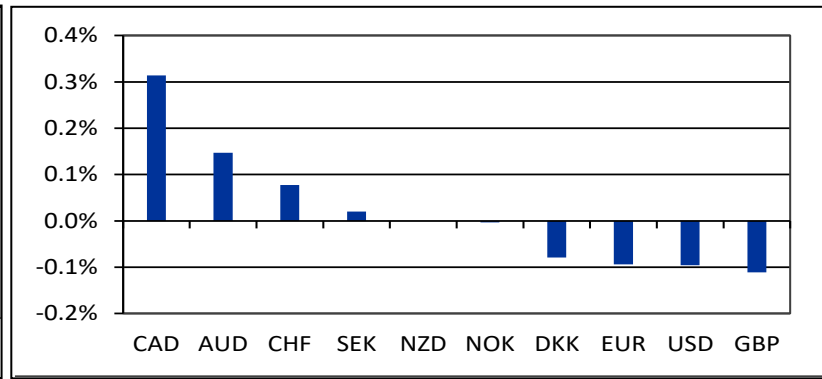
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月1日	10:05	日 植田日銀総裁 講演	-	-
	23:45	米 製造業PMI・確報	11月 51.9	51.9
12月2日	00:00	米 ISM製造業景況指数	11月 49.0	48.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	155.20-157.20	1.1520-1.1650	180.00-182.00

【マーケット・インプレッション】

本日のドル円は神経質な展開を予想。午後2時より植田日銀総裁の記者会見が予定されており、12月会合での利上げ判断に関する発言の有無に大きな注目が集まる。前回会合で「経済・物価見通しの確度が少しずつ高まっている」との認識が示されているが、利上げに対してさらに踏み込んだ内容となった場合、あるいは、これまで通りのデータ注視継続との認識が改めて示された場合、どちらであってもドル円が一時的に動意付く展開は想定しておきたい。植田総裁の利上げ実施への慎重姿勢は崩されないものとみているが、市場の日銀利上げ織込が加速する中、円安牽制を目的とした12月会合での利上げ示唆発言があった際の円買い加速の動きには要警戒。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。